

第 33 回 全国消防救助技術大会



主催 財団法人 全国消防協会
後援 総務省消防庁・全国消防長会

MEMORIAL RESCUE

— 感謝を込めて —

2004 HYOGO・KOBE



2004年8月26日

会場 兵庫県立広域防災センター

「MEMORIAL RESCUE—感謝を込めて—」をスローガンに、第三回全国消防救助技術大会が去る八月二十六日、兵庫県三木市の兵庫県立広域防災センターにおいて、多くの来賓を迎えて盛大に挙行された。

この大会は、全国の救助隊員が一堂に会し、日頃鍛え抜いた消防救助技術を披露するとともに、互いの知識・技術を交換することにより、ますます複雑多様化する災害現場に即応できる高度な救助技術と強靱な体力、精神力を養い、研鑽するために、昭和四十七年から毎年開催しているものである。

開催地では、地域住民に親しまれる消防救助隊を指し、「住民参加型」の大会とし、消防と地域住民の連携を深め、地域の防災力の向上を図った。また、今年度は平成七年に発生した阪神・淡路大震災から一〇年目を迎えるに当たり、大会を通じて全国の消防本部をはじめ各機関、国内外の多くの方々に応援をいただいた「お礼」「感謝」の気持ちを表すとともに、復興した兵庫県・神戸市を全国にアピールすることを目指した。

この大会は兵庫県と神戸市の主管のもと、県内各消防本部をはじめ、地元の消防団員、防災福祉コミュニティ、中・高・大学生ボランティアの多数の参加をいただき、会場内に消防防災体験コーナーや資器材展示も設けられた。

さて、大会当日は今年の記録的な猛暑を象徴するかのような真夏日で、ぎらぎらと照りつける太陽の下、一般の方や消防関係者など約一〇、〇〇〇名が早朝より全国各地から駆けつけ、開会前から熱気と興奮に包まれ、隊員たちが繰り広げる熱き大会が始まるのを今か今かと待ち構えていた。

午前九時、神戸市消防音楽隊の軽快な演奏に合わせ、国際消防救助隊、緊急消防援助隊をはじめ、全国九地区支部から選抜された九三九名の精鋭たちが堂々と入場行進を行い、開催地消防長である平井神戸市消防局長の開会宣言で大会の幕は開いた。

開会式では、国旗・大会旗の掲揚後、消防使命達成のため殉職された消防職員の御霊に対して黙とうを捧げ、さらに、阪神・淡路大震災で犠牲になられた六、〇〇〇人余りの方に思いをはせるとともに、平成一五年六月に発生した神戸市西区伊川谷火災の殉職事案を教訓に、全国で発生している殉職事案等の惨事を二度と繰り返さないよう神戸市消防局の野辺消防監が「消防の誓い」をアピールした。続いて大会会長である白谷（財）全国消防協会会長、井戸兵庫県知事、矢

田神戸市長のあいさつ、井上内閣府特命担当大臣、林消防庁長官（代理・東尾次長）の祝辞と続き、多数の方々からの祝電を代表して麻生総務大臣からの祝電が披露された。さらに、大会審判長の足田北九州市消防局長による審判長指示がなされ、出場隊員を代表して神戸市消防局の笹倉司令補が力強く隊員宣誓を行った。開会式の後、陸上会場において、エンゼル保育園、ひろの保育園、あけほの保育園、えびす保育園の園児による「幼年消防クラブ合同演技」が披露され、水上会場においては、神戸海上保安部と消防水難救助隊（神戸市消防局、尼崎市消防局、西宮市消防局、明石市消防本部、加古川市消防本部、姫路市消防局）による合同訓練が披露された。

いよいよ訓練の開始である。全国から選りすぐられた精鋭たちは陸上・水上それぞれの場合に分かれ、救助のプロとしての誇りと燃えさかるような熱き魂を胸に、磨き抜かれた技を次々と披露していく。張りつめる緊張、俊敏でしなやかな一糸乱れぬ動き、強靱な体力。観覧席からは歓声と激励の拍手が鳴り響いた。

会場周辺では、隊員たちが健闘を讃え合う姿、再会を誓い合う姿が見られ、全国救助隊員の絆は一層強いものとなった。

すべての訓練が終了し、未だ熱気と興奮がさめやらず、神戸市消防音楽隊による軽快な音楽と、息の合った力強く華麗な特別演技が披露されると、会場内からは、ひととき大きな拍手が沸き起こった。

閉会式では、白谷会長から「十分な安全管理の下、参加隊員も怪我なく無事に大会を終了することができた。大会関係者の皆様にお礼申し上げたい。本大会は、陸上の部、水上の部でそれぞれ諸君は日頃鍛え抜いた気力、体力及び救助技術を遺憾なく発揮し、十分な成果をあげられたことと思う。これを一つの契機とし、今後より一層救助技術の錬磨・向上に努め地域住民の負託に応えられるよう希望する。」との講評があった。国旗降納に続いて、大会旗が平井神戸市消防局長から次期開催地の中村さいたま市消防局長に引き継がれ、中村さいたま市消防局長の次期開催地挨拶の後、平井神戸市消防局長が閉会を宣言すると、訓練塔に「来年はさいたままで会いましょう」と横断幕が上がり、来年の再会を誓い、第三回全国消防救助技術大会の幕は静かに閉じた。

神戸市消防局の皆様をはじめ、大会運営に当たられました全ての方々に対し、衷心より感謝申し上げます。

挨拶



財団法人 全国消防協会

会長 白谷祐二

本日、ここ三木市におきまして、第三三回全国消防救助技術大会を開催いたしましたところ、井上防災担当大臣、消防庁長官をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り、このように盛大に開会できますことを厚くお礼申し上げます。

阪神淡路大震災から十年が経過しようとする中、兵庫県が地震に強い「国際的な防災拠点」として整備された、ここ県立広域防災センターを全国から集まった消防職員にアピールするとともに、地域の皆様方に消防を理解していただき、地域防災力の向上を目指すことは大変意義深いことであります。

これも一重に、開催地をはじめ神戸市消防局及び関係機関の皆様方のためまぬご尽力の賜ものであり、これまでのご努力に対しまして深く敬意を表します。

さて、この大会は全国から選抜された救助隊員が一堂に会し、日頃鍛え抜いた消防救助技術を披露するとともに、互いの知識と技術を交換することにより、ますます複雑多様化する災害現場に即応できる高度な救助技術と強靱な体力、精神力を養い、研鑽を図ることを目的として、昭和四十七年から実施しているものであります。

この間、我が国の消防救助技術は、各消防本部並びに関係機関の各種資器材の改良・開発、活用技術の研究はもとより、何よりも隊員皆さんのためまぬ努力と日々の訓練の積み重ねにより、着実に発展、充実を遂げ、成果を挙げてまいりました。

しかしながら、地域住民の安全を脅かす各種災害は後を絶たず、先月の新潟・福島豪雨をはじめ福井豪雨や台風十号などに伴う土砂災害や冠水被害は、記憶に新しいところであり、特に新潟県及び福井県の豪雨災害には緊急消防援助隊が出勤し、孤立住民の救出などの被害の軽減に努めたところであります。

安全に対する住民の関心は、一層の高まりを見せ、消防に寄せる期待は、ますます大きくなってまいります。

参加隊員の皆さんは、本大会において、安全管理に留意の上、これまでの訓練成果を存分に発揮し、所期の目標を達成するとともに、今後、より一層救助技術の練磨・向上に努め、地域住民の負託に応えらるよう切望いたします。結びに、本日ご列席の皆様をましますのご健勝を祈念申し上げ、挨拶といたします。



祝 辞
消防庁長官 (代理)
東尾 正



祝 辞
内閣府特命担当大臣
井上 喜一



あいさつ
神戸市長
矢田 立郎



あいさつ
兵庫県知事
井戸 敏三



次期開催地あいさつ
さいたま市消防局長
中村 武三
(敬称略)



審判長指示
北九州市消防局長
疋田 慶一



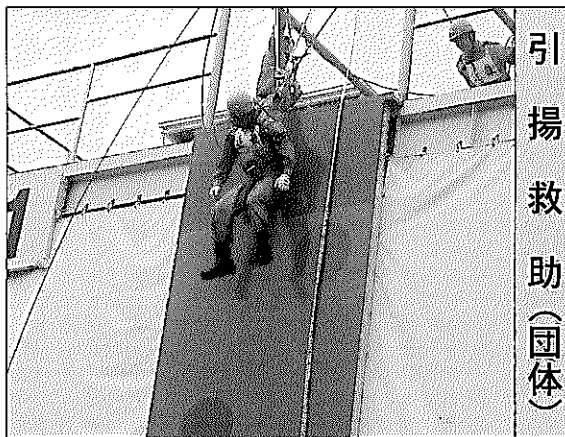
開会宣言・閉会宣言
神戸市消防局長
平井 健二



消防の誓い
神戸市消防局
野辺 三郎

陸上の部

引揚救助(団体)



表彰者

五人一組(要救助者を含む)で一人が空呼吸器を着装して塔上から塔下へ降下し、検索後、要救助者を塔下へ搬送し、四人で協力して塔上へ救出した後、ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホール等での災害を想定した訓練。

【標準所要時間一五〇秒】

【北海道】

札幌市(同)

児島 勉
森下 信也

恵庭市

長船 一真
高田 如英

小松 祥則
吉本 和久
越田 愛久
秋葉 賢
高田 英俊
西田 丈二

【東北】
仙台市(同)

村上 瑞吉
小畑 真美

新潟市(同)

【関東】
比企広域

渡邊 義樹
佐藤 祐治
富田 進
前田 信司
鷺津 厚司
河内 隆信
福原伸太郎
高橋 真司

狭山市

内野 健二
関口 智章
皆川 敬之
神谷 真一
内田 恵司
鈴木 昌信
中込 良昌
小中 雅則
石橋 忠夫
藤本 直樹
宇田川 憲次

浦安市

小松 英雄
大野 憲治
森田 真也
泉澤 貴幸
小泉 順泰
渡邊 馨
浅川 直弘
長谷川 健

東京消防庁

三宅 啓之
小玉 洋一
青木 里志
渡辺 史
菊池 順一
表 和宏

横浜市(同)

福田 義彦
今井 純
志賀 貴史
高坂 武之
山本 豊
目時 靖弘
羽部 浩章
南 健太郎
幸松 洋平
御手洗亮二

川崎市(同)

早川 信吾

相模原市

【東海】
名古屋市(同)

松阪地区広域組合

岩田 秀明
大月 恵一
小林 幸吉
安田 卓弥
岡本 有佑
徳田 辰則
中川 昌孝
松本 菜也
竹岡 亮也

【東近畿】
福井地区

高橋 亮宏
橋本 裕次
小林 隆男
生島 直樹

【近畿】
枚方寝屋川消防組合

北谷 明彦
上田 晶
長谷川 弦登
清水 健治
岡田 光司
山本大二郎
西川 建治
坊古居良友
恩澤 康次
広内 実

神戸市(同)

中島 理志
村田 芳樹
六日市 健
児玉 勉
川本 春樹

【中国】
広島市(同)

下関地区広域行政事務組合

永野 照和
伊東 幸雄
坂本 和憲
廣渡 敦
稲田 義行

【四国】
松山市(同)

中矢 伸吾
野本 昌
二宮 達司
栗田 康弘
五藤 洋介
権藤 浩之

【九州】
福岡県南広域消防組合

佐藤 昌和
中野 弘康
吉瀬 雄二
足達 和浩
野口 裕樹
永田 泰史
松尾 純
山口 大輔
小田 則秋

佐世保市(同)

ロープブリッジ渡過(個人)



水平に緊張された渡過ロープ(モノロープ)を往復四〇メートルを往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。ロープ渡過の基本的な訓練。

【標準所要時間一八〇秒】

表彰者

【北海道】

石川 佳信

上川南部消防事務組合
上川南部消防事務組合
北十勝消防事務組合

大竹 弘祐
岩野 宏

【東北】

那須 暁彦

秋田市
鹿角広域行政組合
二ツ井藤里地区行政組合

石川 崇宏

- 釜石大槌地区行政事務組合 菊池 悟
- 酒田地区消防組合 水田 賢治
- 【関東】
- 太田地区消防組合 赤坂 雅彦
- 水戸市 後藤 允哉
- 新治地方広域事務組合 嶋田 勇一
- さいたま市(同) 篠崎 信介
- 安房郡市広域市町村圏事務組合 小谷 武夫
- 安房郡市広域市町村圏事務組合 坂本 忠幸
- 君津市 廣部 辰也
- 横浜市(同) 鈴木 将人
- 川崎市(同) 大川内 晁生
- 横須賀市(同) 前田 臣史
- 藤沢市 高木 伸之
- 上田地域広域連合 大久保 篤
- 静岡市 横山 純
- 【東海】
- 衣浦東部広域連合(同) 小笠原 圭祐
- 新城市 鈴木 隆史
- 尾三 森木 孝一
- 紀勢地区広域消防組合 谷口 太一郎
- 【東近畿】
- 松任石川広域事務組合 村井 潤一
- 京都市(同) 嘉門 晋平
- 田辺市 辻井 雅俊
- 【近畿】
- 神戸市(同) 山下 敬之
- 西宮市(同) 松本 孝志
- 養父市 柳生 陽一
- 揖南消防事務組合 横田 知宏
- 【中国】
- 鳥取中部ふるさと広域連合(同) 山本 武志
- 下関地区広域行政事務組合 内田 吉則
- 宇部市 藤田 龍一
- 【四国】
- 小豆地区 田村 将之
- 嶺北広域行政事務組合 朝倉 忍
- 【九州】
- 八女 溝田 武生
- 糸島地区消防厚生施設組合 糸島 秀貴
- 平野 秀貴

- 福岡県南広域消防組合 田中 宏明
- 福岡県南広域消防組合 野上 剛
- 阿蘇広域行政事務組合 甲斐龍太郎

はしご登はん(個人)



自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを一五メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練。

表彰者

- 【北海道】
- 北後志消防組合 山崎 歩
- 上川南部消防事務組合 坂本 知弥
- 網走地区消防組合 平田 智彦
- 【東北】
- 弘前地区消防事務組合 水木 聡
- 弘前地区消防事務組合 木村比呂樹
- 大館周辺広域市町村圏組合 藤原 孝悦
- 花巻地区消防事務組合 菅原 寛貴
- 【関東】
- 稲敷地方広域市町村圏事務組合 梶山 真
- 熊谷地区 大澤 永幸
- 蕨市 駒宮 大志
- 佐原市外五町消防組合 高橋 春樹

ほふく救出(団体)



三人一組(要救助者を含む)で、一人が空気呼吸器を着装して長さ八メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、二人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練。

表彰者

- 【北海道】
- 森町 佐山 寿一
- 小笠原裕二
- 大島 弘嗣
- 【東北】
- 板柳町 工藤 周治
- 八木橋朝彦
- 会津 茂樹
- 湯沢雄勝広域市町村圏組合 藤田 和浩
- 南 和之
- 高橋 靖
- 【関東】
- 埼玉県央広域 柴崎 洋介
- 原 毅光
- 大塚 義久
- 森田 健治
- 椎名 和幸
- 山内 俊明
- 大塚 茂俊
- 浦安市

愛川町
翠川 優
和田 将司
伊従 丈二
小川 幸彦
湯沢 勇人

【東海】
あすけ地域消防組合
中垣 太郎
黒柳 直也
近藤 正和
浅見 欣一郎
山田 正和
大山 悦且

あすけ地域消防組合

【東近畿】
城陽市
内田 精一
長谷川 央
辻川 眞哉
井藤 健
増田 俊則
藤田 真也

香芝・広陵消防組合

【近畿】
大阪市
藤井 信哉
真治 利之
鍋島 敏夫
黒川 道春
山本 健司
小川 博之
太田 正幸
田伏 敦
川畑 博文

岸和田市

尼崎 市(局)

【中国】
津山圏域消防組合
山本 貴憲
治部 勝志
吉原 史章
立仙 一高
藤原 慶太
徳弘 賢一

【四国】
高吾北広域町村事務組合

【九州】
筑紫野太宰府消防組合
岩本 大輔
野村 政弘
川邊 剛聖
松岡 慎也
田中 博隆
柴田 勇喜

唐津・東松浦広域市町村圏組合

沖永良部与論地区広域事務組合

伊東 永地
本 哲文
池田 和徳

ロープブリッジ救出(団体)



四人一組(要救助者を含む)で、二人が水平に展張された渡過ロープ(二〇メートル)により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げてけん引して救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から進入し、救出することを想定した訓練。

表彰者

〔標準所要時間七五秒〕

【北海道】
函館市
大谷 満
下田 大輔
山下 卓也
秋本 維世
高木 淳一
若木 裕介
山越 雅典
篠原 健

札幌 市(局)

【東北】
大曲仙北広域市町村圏組合

佐藤 玲緒奈
富樫 寛
伊藤 岳

大曲仙北広域市町村圏組合

加藤 俊美
後藤 正浩
三浦 祐樹
齊藤 典之
田口 博康
佐藤 忍
高橋 啓介
高橋 達
佐藤 潤一
熊坂 武
柳橋 健一
菅原 健
小椋 慶容

北上地区消防組合

仙台 市(局)

【関東】
さいたま市(局)

さいたま市(局)

所沢 市

佐倉市八街市酒々井町消防組合

東京消防庁

横浜 市(局)

平塚 市

藤枝 市

寺田 秀樹
松野 直樹
越路 弘行
榎 堅吾
横山 賢吾
高野 幸治
玉川 篤史
坂野 幸太郎
吉田 雅史
平井 正和
風間 晋介
五十嵐 亮策
平原 弘敏
武田 賢二
山田 学
富岡 芳弘
西田 哲也
川口 洋
大宅 孝夫
関谷 慶紀
石井 力
遠藤 利夫
渡澤 浩一
中居 浩一
関野 健一
勝見 寛之
仲井 久生
岩田 俊
楠 孝裕
小島 大介

相良町・御前崎市広域施設組合
望月 優
高橋 知宏
佐藤 泰
河原崎 達也
長野 洋介
下村 拓馬

【東海】
丹羽広域事務組合

本巣消防事務組合

【東近畿】
大津 市(局)

大津 市(局)

長浜 市

吉野広域行政組合

【近畿】
高槻 市

姫路 市(局)

姫路 市(局)

【中国】
鳥取県西部広域行政管理組合(局)

青戸 一之
藤友 真人

杉本 将一
西田 和也
山名 康司
中野 博信
高井 伸幸
永田 昌平
山口 晋吾
高濱 卓司
長束 幸仁
松尾 邦幸
田中 康則
小野 聖二

大西 寛之
東 裕二
植平 智
家本 保
大堀 良太郎
五十嵐 友和
矢野 敬明
伊吹 友壽
吉村 紀男
河田 英貴
高野 寛史
杉江 昌幸

岩田 幸晃
乙部 亮治
林 幸一朗
佐塚 友和
安達 武司
野倉 大輔
宮田 靖大

岩田 幸晃
乙部 亮治
林 幸一朗
佐塚 友和
安達 武司
野倉 大輔
宮田 靖大

岩田 幸晃
乙部 亮治
林 幸一朗
佐塚 友和
安達 武司
野倉 大輔
宮田 靖大

岩田 幸晃
乙部 亮治
林 幸一朗
佐塚 友和
安達 武司
野倉 大輔
宮田 靖大

岩田 幸晃
乙部 亮治
林 幸一朗
佐塚 友和
安達 武司
野倉 大輔
宮田 靖大

岩田 幸晃
乙部 亮治
林 幸一朗
佐塚 友和
安達 武司
野倉 大輔
宮田 靖大

岩田 幸晃
乙部 亮治
林 幸一朗
佐塚 友和
安達 武司
野倉 大輔
宮田 靖大

岩田 幸晃
乙部 亮治
林 幸一朗
佐塚 友和
安達 武司
野倉 大輔
宮田 靖大

岩田 幸晃
乙部 亮治
林 幸一朗
佐塚 友和
安達 武司
野倉 大輔
宮田 靖大

広島市(局)

恵美 平
安達 智之
藤原 育
森本 直光
岡田 巧
角先 宗次

【四国】高知市(局)

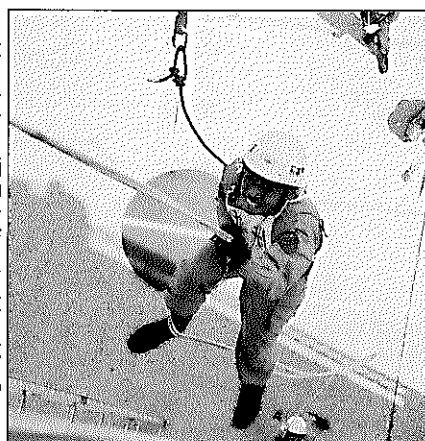
神崎 健太
近澤 順洋
清水 浩次
森本 真司

【九州】佐賀広域(局)

徳富 宏明
樺島 清貴
脇山 尚
船津 典孝
大木 金敏
高原 慎二
岩本 靖則
高田 典明

人吉下球磨消防組合

ロープ応用登はん(団体)



登はん者と補助者が二人一組で協力し、器材を使わずに塔上から垂下されたロープを一五メートル登はんする。
〔標準所要時間一六秒〕

表彰者

【北海道】八雲町

吉野 雅一
伊瀬 康洋

南渡島消防事務組合

島山 悟
荒木 光男

【東北】大曲仙北広域市町村圏組合

仙台市(局)

新潟市(局)

【関東】塩谷広域行政組合

稲敷地方広域市町村圏事務組合

熊谷地区

木更津市

川崎市(局)

返子市

座間市

愛川町

裾野市

【東海】名古屋市(局)

豊川市

【東近畿】宇治市

京丹後市

【近畿】柏原羽曳野藤井寺消防組合

神戸市(局)

森川 武治
清水 秀章
笹倉 隆史
豊福 和孝

明石市

古林 淳志
松原 励史

【中国】赤磐消防組合

尾道地区

【四国】板野東部消防組合

八幡浜地区施設事務組合

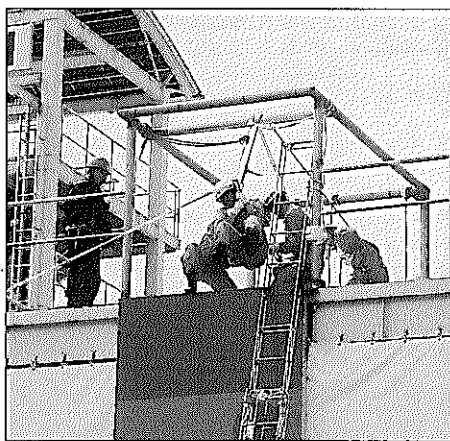
【九州】直方市

熊本市(局)

川内地区消防組合

富武 健一
三原 直樹
鳥山 正一郎
道喜 宣之
田中 誠人
松永 勝義

斜めブリッジ救助(団体)



五人一組(要救助者を含む)で、三連はしごを活用して高さ七メートルの塔上に進入し、救助ロープで斜めブリッジ線を展開して要救助者を救出した後、脱出する。高所から迅速に要救助者を救出するための訓練。
〔標準所要時間二二〇秒〕

表彰者

【北海道】函館市

川合 隆一
坂見 匡則
水島 継介
細川 大介
佐藤 仁昭

【東北】盛岡地区広域行政事務組合

小野 潤哉
高橋 智樹
佐々木 智樹
八幡 七海
大坪 賢一

石巻地区広域行政事務組合

阿部 義弘
吉野 雄一
三浦 芳則
佐藤 潤
皆口 秋夫

【関東】つくば市

萩谷 智和
小堀 祐二
結東 秋弘
塚本 勝弘
倉持 明央
田中 浩

朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部

茂木 潤一
伊藤 正伸
上原 康昭
柴田 憲一

朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部

大塚 一孝
田中 孝行
大澤 健
木村 賢二

入間東部地区消防組合

野本 健治
大竹 悟
佐藤 隆行
木須 博

東京消防庁

平塚 直也
米山 博義
木須 博
榎 俊夫
鈴木 康雄

横浜市(局)

御殿場市・小山町広域行政組合

【東海】
名古屋市(局)

岐阜市

【東近畿】
砺波広域圏

香芝・広陵消防組合

【近畿】

堺市高石市消防組合

柏原羽曳野藤井寺消防組合

園田 智則	齋藤 雅敏	柴田 健治	古林 裕之	谷津 直樹	田辺 政之	内山 雅彦	武藤 淳一	金井 健一	勝俣 貴文	久保田 淳	芹澤 勇樹	嶋田 徹	花村 亮	松林 二朗	林 真也	濱田 優一	村上 晴彦	武藤 昭光	寺西 修介	山下 幸大	吉村 浩一	種彦 友和	松井 聡之	宮西 秀仁	金田 将	箭原 正	米田 雅彦	舟橋 央高	木村 一登	神山 英樹	福田 公一	井穴 史宏	加藤 新一	田中 克明	尾上 富一	白杵健太郎	三木 信明	小林 大吾	梶井 竜二
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

【四国】
徳島市(局)

【九州】
甘木・朝倉

福岡県南広域消防組合

田中 秀尚	小林 英夫	堀北 雅史	桑城 清貴	津地 克馬	河野 孝夫	松本 弘之	星野 利文	西岡 泰典	高倉 進	谷口 英之	手島 雄二	田中 尚宏	松永 和明	川原 剛仁	久良木正史	出口 晶一
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

ロープ登はん(個人)



塔上から垂下されたロープを壁面を蹴ったり、足にロープを巻き付けることなく、手だけを使って一五メートル登はんする。

〔標準登はん高一五メートル〕

表彰者

【北海道】
北広島市 高木 謙作
北留萌消防組合 加藤 徹治

【東北】

酒田地区消防組合

白根地域

小出郷

【関東】
筑西広域市町村圏事務組合

鹿島南部地区消防事務組合

熊谷地区

旭市外三町消防組合

印西地区消防組合

横須賀市(局)

藤沢市(局)

【東海】
諏訪広域

衣浦東部広域連合(局)

紀勢地区広域消防組合

【東近畿】
金沢市

宇治市

【近畿】
大坂市(局)

大坂市(局)

柏原羽曳野藤井寺消防組合

大阪狭山市

【中国】
益田広域

萩地区広域市町村圏組合

【四国】
大川広域

美馬東部消防組合

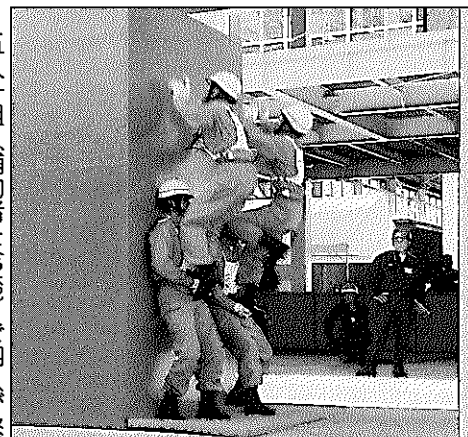
【九州】
直方鞍手広域市町村圏事務組合

鳥栖・三養基地区消防事務組合

人吉下球磨消防組合

大寫 孝幸	佐久間 忠	星 昭弘	古橋 昭法	山王 直希	町田 一臣	島田 康弘	稲垣 裕士	柏井 典明	川島 勝	永井 秀司	高木 現行	浮田 高行	山崎 顕男	山崎 博史	田中 真也	鳥飼 孝二	清水 秀章	芳賀 英洋	潮 英之	佐々木賢二	細川 良太	西浦 和昭	石橋 孝一	増岡 正人	迫田 勝則
-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

障害突破(団体)



五人一組(補助者を含む)で四人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作により五つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練。

〔標準所要時間一九五秒〕

表彰者

【北海道】
札幌市(局)

旭川市

【東北】
秋田市

福島市

入江 卓	雨堤 亮	福田 直樹	春日 大輔	菅原 大樹	上原 康明	藤田 博之	藤田 誠	貝谷 恒彦	坪川 洋平	小野 昭博	保坂 一茂	佐藤 俊之	石川 網紀	石川 善央	高橋 勝俊	野地 宏樹	大関 淳寛
------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

【関東】
桐生広域

安齋 裕紀
阿部 学

稲敷地方広域市町村圏事務組合

今泉 豊
川上 良一
野田 恭司
中村 拓也
岸 幸一郎

さいたま市

東京消防庁

東京消防庁

横浜市

川崎市

【東海】
岡崎市

田原市

白井 晃明
村松 達悦
青山 孝行
丸橋 貴広
河澄 勝弘
築瀬 智

高橋 正幸
石川 智也
原 光生
小泉 充広
齋藤 誠司
谷 大輔
森田 桂
杉野 晃章
堀越 健司
植山 康司
鈴木 貴博
金安 政博
小濱田 直樹
堀野 治之
岩淵 洋一
野原 栄治
廣畑 英二
阿部 幸助
小宇都 和幸
寺沢 佐利
山本 武
中山 貴晴
中川 浩由
小川 真樹
青木 政則
丘野 敬介
佐藤嘉嗣 馬
石塚 弘巳
古畑 昌良
大野 英樹

【東近畿】
京都市

伊都消防組合

【近畿】
枚方寝屋川消防組合

柏原羽曳野藤井寺消防組合

加古川市

【中国】
広島市

福山地区消防組合

【四国】
高松市

渡辺 孝充
坂口 知秀
小池 宏範
永田 浩丈

本山 友宏
藤江 卓也
平田 拓朗
宮田 真行
山田 雄策
加藤 敦史
井上 敦嗣
藤田 勝彦
岡中 秀暁
平山 晃男

杉田 卓弘
梶谷 猛
湫 隆博
和田 智志
小嶋 悦喜

松井 博
山川 勝
麻野 浩司
中尾 剛志
松井 隆一
原田 耕次
岸本 敏和
福原 祐
竹中 貴志
阿部 次郎

渡辺 将彦
角先 正次
丸山 孝
塚本 哲弘
小川 一郎
高卵 文紀
坂田 直樹
堤 太作
石崎 敬昭

橘 裕治
小前 昭男

【九州】
筑紫野太宰府消防組合

熊本市

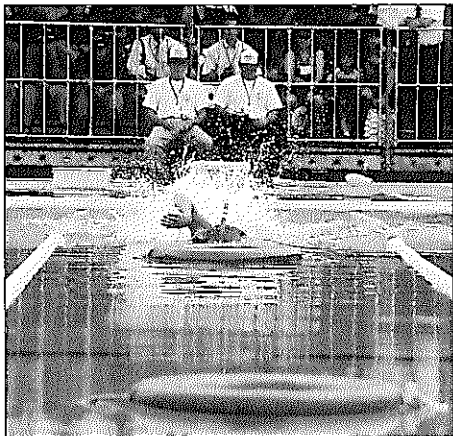
加世田地区消防組合

河野 博幸
時耕 秀樹
馬場 貴大

石橋 祥吾
安部 敏治
井ノ上 明広
石川 善章
岡部 聡明
小森 博文
黒田 恭介
世良 信明
鳥井 敏史
宮本 和臣
黒瀬 光志
黒上 大徳
山下 陽輔
木戸 開彦
宮内 直樹

◆水上の部◆

複合検索(個人)



マスク、スノーケル、フィンを着装し、スノーケリングで障害物(救命浮環)を突破しながら水中に沈められたリング4個を検索して、引き揚げる。水中の行方不明者の捜索を想定した訓練。

〔標準所要時間四〇秒〕

表彰者

【東北】
八戸地域広域市町村圏事務組合

いわき市

【関東】
東京消防庁

【東海】
横須賀市

【東海】
茅ヶ崎市

【東海】
羽島郡広域連合

【近畿】
大阪市

【中国】
神戸市

【中国】
尼崎市

【中国】
海田地区消防組合

【四国】
南宇和

【九州】
高知市

高遊原南

藤田 孝之
空岡 実

伊藤 毅
山口 剛
藤川 幸博
大関 康之

林 靖浩
春田 具範
阿部 浩二
森岡 弘文
秋田 尚也

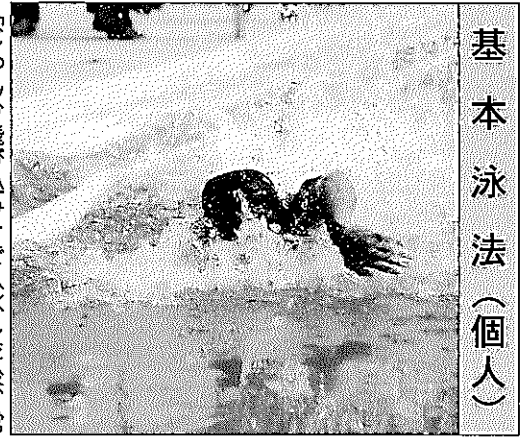
植田 典秀
四方 司

濱野 知
井上 智高

日置 啓一
福岡 雄樹



基本泳法(個人)

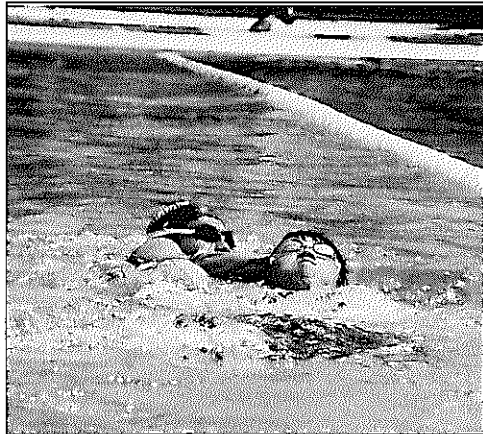


「じゅんが飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ二五メートルずつ泳ぐ。水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練。
 [標準所要時間四〇秒]

表彰者

- 【東北】 仙台市(同) 千葉 典史
- 【関東】 東京消防庁 三浦 幸生
- 平塚市 杉山 智明
- 長野市(同) 水崎 厚史
- 裾野市 室伏 郷志
- 【東海】 名古屋市(同) 松岡 悟
- 岡崎市 岩崎 允史
- 衣浦東部広域連合(同) 石川 慎弥
- 【東近畿】 松任石川広域事務組合 木下 康
- 京都府(同) 大橋 史明
- 【近畿】 枚方寝屋川消防組合 西口 幸仁
- 神戸市(同) 高橋 伸武
- 尼崎市(同) 青石 良
- 【中国】 鳥取県東部広域行政管理組合(同) 上田 広大

溺者搬送(団体)



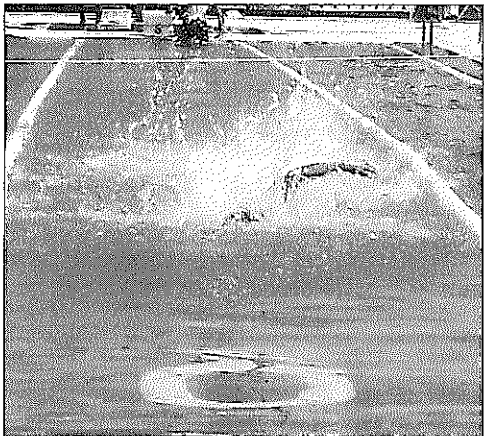
二人一組(要救助者を含む)で、救助者が「じゅんが飛び込み」で入水後、要救助者(溺者)を注視しながら近づき、チンプールで確保した後、ヘアークャリーにより救助する。
 [標準所要時間四二秒]

表彰者

- 【東北】 福島市 西村 友太
- 黒羽 啓之
- 【関東】 越谷市 竹村 俊幸
- 高橋 佑介
- 菅 慶久
- 福島 英人
- 相模原市 石田 拓也
- 宇多 千絵
- 【東海】 名古屋市(同) 加藤 丈晴
- 林 敬二郎

- 下松市 増田 宜之
- 【四国】 周 桑 黒川 直樹
- 【九州】 大隅肝属地区消防組合 中村 隆幸
- 大隅肝属地区消防組合 西齒 康介

水中結索(団体)



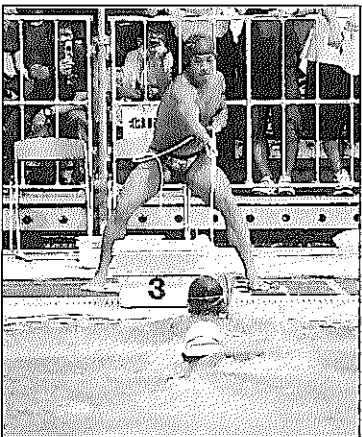
三人一組で水中の結索環に、第一泳者は「もやい結び」、第二泳者は「巻き結び」、第三泳者は「ふた回りふた結び」のそれぞれ指定された三種の結び結索を行う。水中におけるロープ結索技術を習得するための訓練。
 [標準所要時間一〇六秒]

- 大府市 蟹江 裕二
- 加古 文男
- 【東近畿】 大津市(同) 黒島 和司
- 武田友紀子
- 岡村 悦道
- 彦川 智周
- 【近畿】 守口市門真市消防組合 吉本 親央
- 和田 晋司
- 有田 達洋
- 野中伸一郎
- 香西 辰哉
- 岡部 豪
- 【中国】 広島市(同) 津元 伸太
- 佐方 照男
- 【九州】 熊本市(同) 下村 保
- 谷口 修平

表彰者

- 【東北】 いわき市 空岡 実
- 鈴木 雅彦
- 中軍 慶之
- 【関東】 東京消防庁 飯田 泰弘
- 村上 明陽
- 伊藤 毅
- 菊地 幸太
- 三浦 幸生
- 伊東 大祐
- 高橋 大輔
- 岡村 宗
- 【東海】 岡崎市 本崎 裕幸
- 中根 肇
- 神原 宏和
- 【近畿】 枚方寝屋川消防組合 竹本 暢
- 奥野 義朗
- 三森 重文
- 有田 達洋
- 阿部 浩二
- 小松 康範
- 【九州】 人吉下球磨消防組合 井口 卓
- 中川 博文
- 萩 雅彰

溺者救助(団体)



三人一組(要救助者を含む)で救助者と補助者の二人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をプール内へ投下して救助者が二メートル先の要救助者の位置まで搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せて救助する。

〔標準所要時間四二秒〕

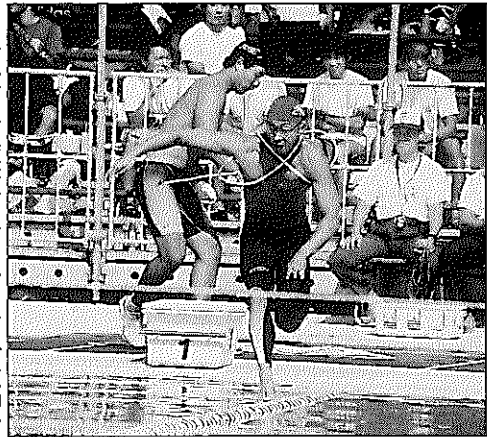
表彰者

- 【東北】 仙台市 黒田 昌樹、浅水 博文、菊池 孝志
- 【関東】 越谷市 新開 行弘、吉成 真吾、竹村 俊幸、川島 正裕、神澤 崇、立山 元一
- 【東海】 岡崎市 白石 繁雄、鈴木 啓太、榊原 宏和、篠田 昌裕、吉田伸一郎、林 達也
- 【東近畿】 大津市 山本 征治、山中 創、堀内 信彦
- 【近畿】 枚方寝屋川消防組合 奥野 義朗、小西 範将、高見浩一郎、小林 幹、吉田 尊法、大山 常勝、小松 康範、前田 征治、伊藤 公一
- 【神戶】 神戸市 田川 重信、小田 富成、藤田 孝司
- 【中国】 広島市

【九州】 熊本市

服部 大輔、積 寿範、坂田 憲治

人命救助(団体)



三人一組(要救助者を含む)で救助者が「三重もやい結び」のロープをたすき掛けにして要救助者の位置まで泳ぎ、要救助者をクロスチエストキヤリーで確保し、補助者が救助ロープをたぐり寄せて救助した後、再び水没しつつある要救助者(訓練人形)を水面に引き揚げ、救助する。

〔標準所要時間七三秒〕

表彰者

- 【東北】 鶴岡地区消防事務組合 本間 直貴、五十嵐昌宏、馬戸場信也
- 【関東】 川崎市 辻本 学、石黒 将人、中嶋 賢二
- 【東海】 名古屋市 神谷 尚樹、重野 公孝、長崎 克己

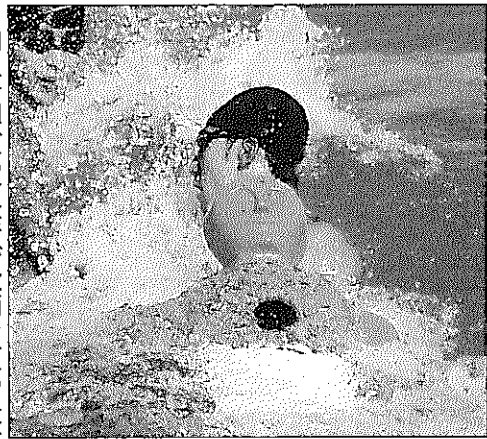
【近畿】 枚方寝屋川消防組合

西口 幸仁、笠井比佐寛、高見浩一郎、三枝 正平、宮村 利幸、吉田 知展

【九州】 大分市

末松 一彦、日野 謙二、那須 佑輔

水中検索救助(団体)



四人一組で第一泳者が水面を、第二泳者が水中をそれぞれ検索し、水没している要救助者(訓練人形)を発見して水面へ引き揚げた後、第三泳者と第四泳者が協力して対岸の救出地点まで搬送し、救助する。

〔標準所要時間一〇二秒〕

表彰者

- 【東北】 八戸地域広域市町村圏事務組合 三浦 恒雄、奥沢 真治、須藤 聡、清水 健司

【関東】 さいたま市

山下 友之、山名 秀一、秋吉 勉、吾妻 信康、佐藤 正和、佐藤 圭、木村 洋士、藤川 幸博

【東海】 小牧市

松野 直樹、藤野 昌男、石井 洋行、沖 英次

【東近畿】 京都市

井上 武、佐藤 正和、井上 健司、井崎 伸雄

【近畿】 守口市門真市消防組合

泰地 達也、山星 賢一、吉本 親央、馬場 大輔、高志武敏浩、秋田 尚也、森岡 弘文、泉 勇太

【中国】 松江地区広域行政組合

井ノ下秀彦、松尾 行洋、安部 伸、津森 一宏

【九州】 高遊原南

日置 啓一、福岡 雄樹、松本 卓実、西岡 治彦

インタビュー

★本窪田 瞳さん (兵庫県)

消防官になりたい高校一年生です。夏休みの宿題で、自分の将来のことについてレポートを提出することになっており、自宅近くの消防署へ普通救命講習を受けに行ったときに、大会のポスターを見ました。

人を助けるために厳しい訓練を受けているレスキューに興味がありました。今日、初めて救助の訓練を見ましたが、すごく感動し、消防官になりたい気持ちがより一層強くなりました。私は、龍野市が大好きですので、龍野市の消防官になり、この消防学校に入校したいです。



★トラン・キム・ハンさん

(ベトナム・左側)

様々な現場の状況を想定した訓練なので、救助隊員の技術向上に大変役立っていると思います。また、このような大会を開催することで、子供をはじめ、一般の人も消防・救助により関心を持つてもらえると思います。

消防・救助にとって究極の目標は、仕事がなくなってしまうことかもしれない。災害を未然に防止することが一番、大切だと思います。



★堀越夕子さん (神奈川県・左側)

主人が今回の大会に出場しています。主人は、水上の部では数回全国大会に出場しましたが、陸上の部では初めてです。すから、私も朝、家を五時三〇分に出て、応援に来ました。

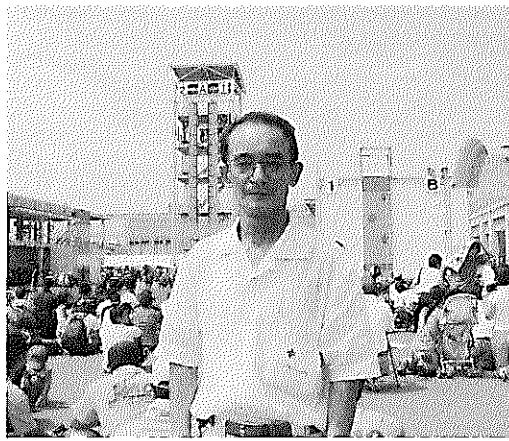


会場に来て、人の多さに驚きました。家族揃って消防が大好きで、子どもも憧れています。子どもが大きければもっと楽しめたと思います。

災害現場での殉職事故や、負傷事故のニュースを耳にしますと、自分の身に置き換えてしまいます。どうか、自分の体に気をつけて、頑張ってください。

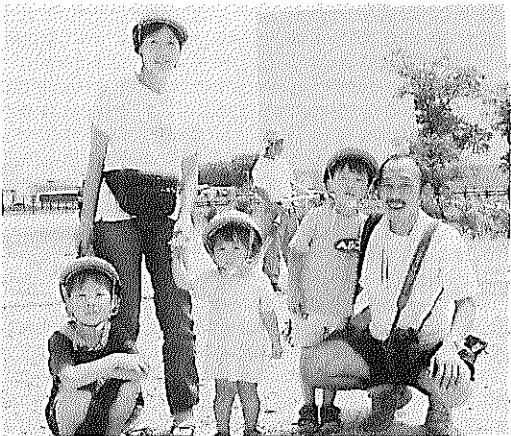
★塚田義次さん (大阪府)

立派な施設の中で開かれている大会で、救助隊員の動きもすばらしい。大変な仕事ですが、消防隊の皆さんはご自身の体も大切にしてください。それから、がんばってもらいたい。これからの仕事に誇りを持って、邁進してほしい。



★松田至子さん・将太郎さん (大阪府)

全国大会は、規模も大きく、また、観客も多くて驚いています。市民の生命・財産を守ってもらっていますが、活動中に消防隊の方に事故が起きないように祈っています。日々の訓練は大変だと思いますが、がんばってください。



★大塩陽介さん (兵庫県・右端)

妻が市の職員で、市の広報誌に載っていたのを見て、全国大会であるということから家族揃って見に来ました。広い敷地で、また、明るい感じを受けました。この大会をおして、隊員の技術が向上しているのと思いますし、市民の防災意識の向上にも役立つと思います。消防士さんには、「いつもありがとうございます。」の言葉しかありません。



どうか、市民感情にとらわれず、しっかりとした数字に基づいた活動をお願いします。

また、大きな災害が発生した時には、市民自らが容易に使用できるような器材の配置と教育をお願いします。それと、東海、東南海地震などが危惧されていますが、初動が遅れることのないよう、消防署の耐震化と危険な地域の確認をお願いします。

★松浦恭子さん(左)・高橋明子さん(右)
(兵庫県)

朝の特別演技(幼年消防クラブ合同演技)に園児を連れてきた保育士です。子ども達の演技は終わりましたが、私は残って見えています。

学生時代、学校の近くに消防署があり、いつも訓練をしていたのを覚えています。そのころは、「大変だな。」と思っていましたが、あの積み重ねがこの大会に繋がっているのだと感じました。

消防士のいつもの活動は、きつと、今日のように華やかではないはずです。昨年のような悲しい事故がないように頑張ってください。



★山田 一也さん(兵庫県・左側)

三木市にこのようなすばらしい施設があることに誇りを感じた。

そして、消防隊員の皆さんがすばらしい訓練をして、万が一に備えて技術を磨いておられる事に感動し、消防に対する信頼が一層増した。



★小倉幸子さん・良太さん(右)・

広太さん(左)(兵庫県)

市の広報誌と小学校のイベント案内でこの大会を知り、一度見てみたいなど思いやつてきたのですが、隊員の機敏な動きに驚きました。

私が持つ消防のイメージは、自分の安全を守りながら人のために働くという、仕事と割り切れないものにとらえており、そのおかげで私たちが市民が安心して生活できていると思っています。

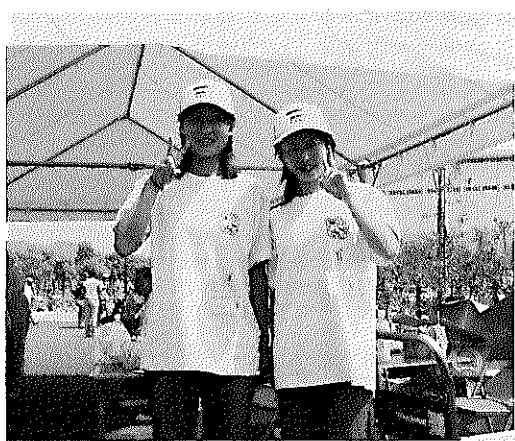
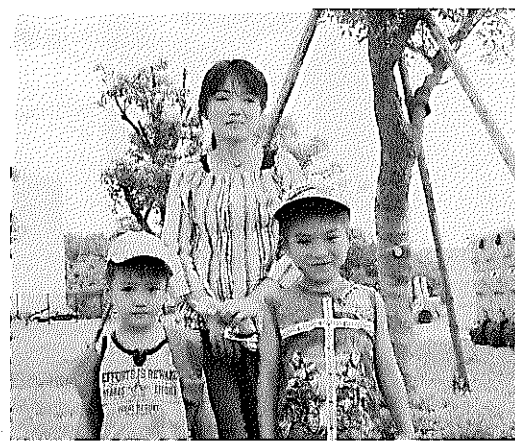
どうか、私たちが安心して生活できるように、十分な消防士を配置してください。また、救命士の数も確保してください。

★鎌田麻美さん(右)・

村井友子さん(左)(兵庫県)

学校にボランティア募集がありましたので、将来にプラスになると思い、応募しました。救急救命士(鎌田)と医療関係に就きたい(村井)高校生です。

全国から隊員が集まっているというのは、会場に来て初めて知りましたが、「凄い。」の一言です。救急救命士になりたい気持ちが強くなりました。



新聞やテレビで、現場到着までに時間がかかると聞いていますので、市民の期待に応えるためにも、技術の向上とともに、要請があれば早く来て欲しいですね。

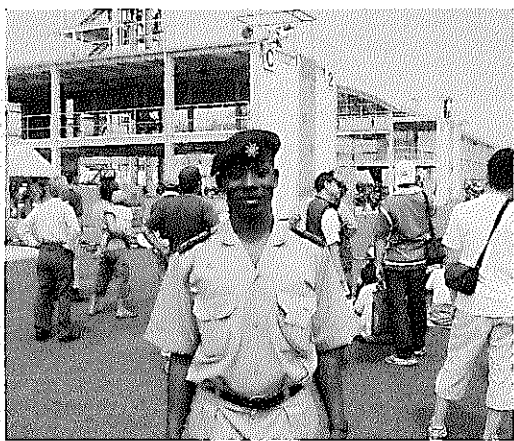
★又フ・リチャード・ジブレルさん

(ガール)

三三回目という、これまでの積み重ねにより、この大会は、救助技術の向上に役立ち、全国の隊員が集まることで教育的効果も多いにあると思います。

日本の消防士は、一言でいうとプロ意識が高く、また、それぞれの地域の人々に対する思いやりにあふれていると思います。

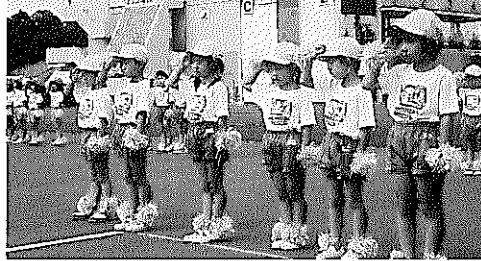
最後に、日本と同様、我が国の災害も複雑・多様化してきています。この大会を参考にしながら、これまで以上に、我が国の消防体制を充実していきたいと思っています。



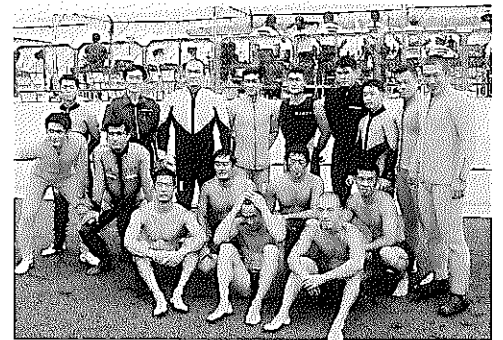
大会を支えてくれた皆さん

とにかく暑かった「第三三回全国消防救助技術大会」。この大会には約二〇〇人の地元の皆さんがボランティアとして参加していただき、大会の運営を支えていただきました。

開会式の直後に陸上会場で披露された「幼年消防クラブの合同演技」。地元三木市からえびす保育園(ピンク)、エンゼル保育園(オレンジ)、ひろの保育園(緑)、あけぼの保育園(赤)の四園から元気いっぱい園児が駆け出し、ちびっこ消防隊を演じてくれました。演技の最後には本物の消防職員へ激励のメッセージを送り、かわいらしい敬礼で締められました。



また、水上会場では海上保安庁と消防の合同訓練が披露されました。普段から県警機動隊も含めて3機関で兵庫潜水会を結成し合同訓練、技術交換等をしているそう、海上保安庁潜水士の池田将規さんは「市民の面前で訓練を披露するというのは初めてです。今後各機関の長所を交換し合って高めあうとともに、このような展示訓練にも参加していきたいと思えます。」と語ってくれました。

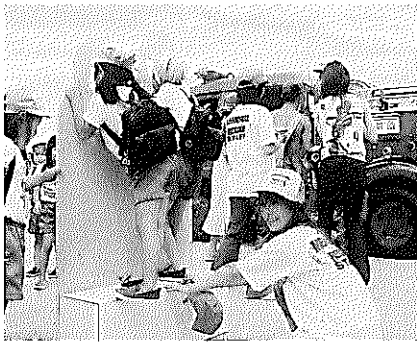


池田将規さん (後列右から5人目)

大会会場では、正面の入場アーチをくぐるとすぐに目に飛び込んでくる「記念撮影コーナー」や「子供クイズ」をはじめとする『子供の広場』。この『子供の広場』の運営をしていたのが関西国際大学ボランティア部のみなさん。各コーナーに子供たちの行列が続く中、リーダーの橋本侑利子さんは、「サークルの活動として、普段から様々なイベントに参加しているのですが、消防のイベントに参加するのは初めてです。おまけに全国規模の大会と聞いて最初はとても戸惑いました。今日来てみて、子供の参加が予想以上に多くてびっくりしています。最近のテレビドラマの影響もあって消防士のみなさんは身近に感じるのですが、これを機会にもっと身近に感じられそうです。」と語ってくれました。



橋本侑利子さん

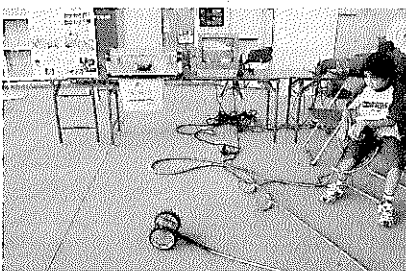
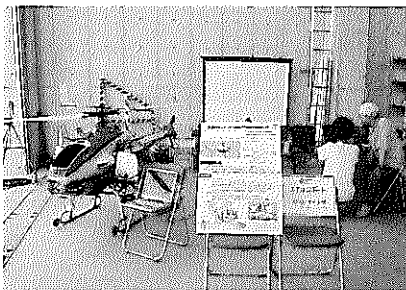


本当に裏から支えてくれています!?



関西国際大学ボランティア

『子供広場』横の屋内訓練場にはレスキューロボットがずらり。こちらは本職の消防職員も興味津々。がれきの中に入って要救助者を探すヘビ型ロボット「IR S 蒼竜」、飛行型のエアロロボット、人力発電方式簡易型探索機「くるくる」などが展示されていました。見学者の中には、同じようにレスキューロボットを、大学で研究・開発しているという学生さんたちもいて、研究の参考としてロボットだけでなく、実際の救助訓練も見に来たと語っていました。



訓練塔の裏側の通りは記念グッズの販売所や地元物産コーナーが並び、とても賑やか。すうっと通るだけでも土地の特色が伝わってきます。



通りを抜け、イベント会場へ入るとこちらもまた、ひととひとの大きな盛り上がり。さまざまな消防体験コーナーや防災資機材の展示コーナーが所狭しと並んでいました。入り口付近で中学生ボランティアのメンバーと防



中島喜一郎さん（後列右から3人目）

災コミュニティのベテランメンバーのグループを発見。神戸市須磨区若草防災福祉コミュニティの中島喜一郎さんは「日頃から地域の防災訓練には参加しています。今回は全国の救助隊の代表の競技を見て、力強く機敏な動きを見ることができて良かったです。中学生ボランティアのメンバーとは今日初めて会ったのですが息もびったりばっちりですよ。」中学生のみならずも楽しんでそうに運営にあたってくれていました。

放水訓練コーナーや、ロープ渡過体験・ロープ結索体験コーナーでは神戸市の消防団員の皆さんが指導にあたっていました。放水体験コーナーの中塚新祥さんは「地元の防災訓練と違って、いろいろな人と出会えることが刺激にもなりますね。もう何百人の方に体験してもらっているのですが、その間、私たちがポンプ操作をするので自分の訓練にもなりますよ。」と汗まみれなのに笑顔で語ってくれました。



中塚新祥さん

ロープ結索コーナーの西上利男さんからは大会に関して「全国統一の内容で訓練を競うというのとても意義のあること。参加してこの場を体験することが重要になると思うので、同じ人が何度もあるのではなく、経験者は指導側に回ってもらって、たくさんの人に出場してもらい、全国消防のますますのレベルアップにつながると思います。外国の方も見学にいられているので、もっともっと日本の消防をアピールして欲しいですね。」という鋭いご意見もいただきました。



西上利男さん（後列右から2人目）

他にもお父さんの仕事に関わるイベントでボランティアができて嬉しいという短大生の中田有香さんをはじめ、とにかく楽しみながら一生懸命がんばっていた高校生コンビ、中学生トリオなど活気あふれるイベントコーナーでした。暑い暑い大会にもかかわらずがんばってくださいました。皆さん、本当にありがとうございました。



中田有香さん



大会ダイジェスト



第23号 平成16年9月25日発行

編集 (財) 全国消防協会

〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2
（アパックスビル2F） 電話 03(3234)1321(代)